

令和3年度 第6回ACP作業部会議事録

日 時 令和3年10月14日(木)

午後2時～午後3時

場 所 安城市医師会館 2階 大会議室

参加者 別紙参照

事務局より連絡

資料については次第、ACP マニュアル、わたしノート A4、5 サイズがございますのでご確認頂きたい。

部会長より挨拶

本日は準備した資料の確認と修正を皆様にディスカッションして頂きたい。事務局で構成を検討した結果、本案を作成したので簡単に説明する。

ACP マニュアルについて。はじめに、安城市理念、総論、各論についてで構成した。ACP 実践の4段階(意思表示、意思形成、意思決定、意思実現)についてそれぞれ関わり方、ポイントを記した。今までのグループワークの中で「共通の情報共有シート」があった方がいいという意見が出ていたが、シートを埋めることが目的になってしまう恐れもあるので、まずは専門職にACPを実践し、スキルを向上させていく中で今後検討していく方向性でまとめた。意思決定支援では協働意思決定を中心にまとめたが、Q&Aの内容も盛り込んでいる。意思実現支援の部分ではどこにいても本人の意思決定を支えますという内容を中心に記載した。その部分では多職種連携を書いているし、DNARについても早めの在宅医療の導入を勧めています。その後疾患別・状況別の対応・支援者の資質向上をまとめた。支援者の資質向上については、個人の感受性の育成や柔軟性の向上等が支援者には必要であるため、学ぶべき知識を紹介している。続いてサルビー見守りネットの活用方法・わたしノートの活用方法とした。3章は資料として掲載。Q&Aは本文に移行した。皆様には特に第2章の部分を見て現場の人が分かるかなという視点で確認して欲しい。

次に、「わたしノート」も4G中心にまとめてもらった。手ががりとしての情報を「わたしノート」に記載してもらいたいと考えている。「わたしノート」や「ACP マニュアル」のネーミングを含めて検討して欲しい。

4G代表より「わたしノート(案)」作成の意図について説明。

「わたしノート(案)」については4Gにて作成した。皆様に見て頂くに当たり、作成の意図を説明したい。そして修正点があればご意見を頂きたい。

「わたしノート」を書く時の大切な約束として、意図を記載している。本人の好きなタイミ

ングで書くところがあるが、タイミングについても検討して欲しいし、家族と共有できると良いと思いきまとめた。「人生の折れ線グラフを書いてみましょう」という項目を入れた。気分の変動と気持ちを書くことで本人・家族が想いを共有しやすいと思いき作成している。もしもの時③の葬儀、遺言書についても記載すべきかなど必要性を検討して欲しい。

事務局として検討して頂きたい内容

「わたしノート」・「ACP マニュアル」のネーミング。その修正部分、わたしノートのサイズについて A4 か A5 のどちらが良いかについて検討して頂きたい。

議題

1. グループワーク報告(ACP マニュアル・わたしノート)

1G：協調部分は色を変えても良いのでは？

わたしノートを活用しながら他職種との情報共有を図っていく必要があるか？情報共有シートについては1Gで検討していたのでまだ結論は出ていない。わたしノートの延命治療について記載する部分について。法的根拠がない文書についてはノートのチェック項目にチェックが入っていたとしてもその通りに実施するのか？

部会長よりアドバイス)

その時の本人の病状によって本人の有益性を多職種で検討して決定して欲しい。

わたしノートの大きさはA4サイズか悩むが、紛失しないようなサイズにして欲しい。マニュアルとわたしノートの整合性を図った方が良い。自分でなるべく書くとノートには書かれているがACP マニュアルだと誰かと一緒に書いて欲しいとあるため統一した方がよい。ACP マニュアルについては安城市版ACP マニュアルとするなど安城市で考えたことがアピールできると良い。

2G：わたしノートの大きさはA4サイズが書きやすい。変更時は一冊に追加するのか、何枚も書き換えるのか運用をどうするのか？いつどのタイミングで渡すのか？介護保険送付時や介護保険申請時等はどうか。自分の生活の振り返りの後に「もしものとき」があるので、その前に「わたしのこれからのこと」のページを入れてはどうか？マイナスな事が書かれている部分が多いので、プラスの部分でこれからどうしていきたいかを追加して欲しい。治療の部分で痛みに特化した内容が書かれているが、他にも苦痛があるので項目の検討が必要？延命治療をどう受け取られるのか？延命治療についての説明文が必要。特に、どうしてそう思うのかの理由部分は必須記載として欲しい。生活の場所がもう少し具体的に書かれると良い。

3 G：マニュアルについて付箋部分の内容に統一感が無い。ポイントなのかまとめなのか様式の統一感が欲しい。疾患別の部分が見開きになると良い。意思実現支援の部分はもう少し分かりやすくまとめる。現実の問題点があって、多職種協働が必要だと繋げたい。わたしノートについてはACPを考えるイメージの部分ではACPと書かれているが「人生を考えるイメージ」など他の言葉に置き換える。心身の状態を意思としているが意志(しっかりした思い)に書き換えても良い？思いや考えは変化するとして、想いに置き換える。価値観という言葉も硬い。「自分の大切に思うことを知る」としても良い。代理意思決定者という言葉も「自分の気持ちを代弁してくれる人」とするなど分かりやすい言葉に置き換える。大切な約束の中で「自分で書きましょう」となっているが、「家族や支援者と一緒に書きましょう」とした方が共有できるのではないか。自宅で状態が急変した場合の所は「救急車で運んでほしい」として見たらどうか。グラフも横書きか見開きが良いかも悩むが年齢によっても幅が違うので見開きでも良いのでは？

4 G：マニュアルはチェックが出来る項目を追加してはどうか？意思形成～意思実現まで。P.7②チーム、多専門職となっているが「専門職」にしても良い。A4サイズが書きやすい。名前はわたしノートが良い。わたしの事に家族構成を追加。「もしものときは」に「わたしのこれからしたい事」、「して欲しくないこと」などの項目があっても良いのでは？

部会長より

皆様のご意見を事務局にて再度検討し修正していく。わたしノートについても市民の皆様が記載し、実践に活用できるものになりたいと考えている。

2. 事務局より

マニュアル・わたしノートに対するご意見は今月中にサルビーのプロジェクトに掲載、もしくは事務局までメールください。短時間の検討でしたので言えなかった部分も多数あると思うのでよろしくお願ひしたい。年内目標に地域ケア推進会議や病院など関係各所に見て頂き、完成としたい。完成後はACP作業部会のメンバーに講師となって頂き、周知啓発をしたいと考えている。11月でACPマニュアル・わたしノートについては最終確認としたい。

次回 第3回ACP作業部会 令和3年11月11日(木) 14時～15時 安城市医師会

出席者：杉浦真先生、岡田高志、外山佳美、石川美帆子、森 紀子

書 記：森 紀子

1. マニュアル・わたしノートについて

今月中にサルビー見守りネットプロジェクトに各自作業部会中に出せなかった意見を投稿する。様々な意見が出ていたが、修正内容をここでまとめ、事務局側で修正し10月29日までに外山氏にメールする。

2. 全体の修正部分について(石川担当)

- デザインの統一

付箋部分はポイントとする（ポイントマークを付けるなど分かりやすくする）

具体例、重要部分は背景色を変えるなど統一感が出るように修正する

ポイントの表示の仕方（・を止める、単元の部分だけフォントを大きくする等）

- P.17 支援者の資質向上の DNAR の説明文は削除する（別ページで DNAR の説明をしているため）

- 3章参考資料を3章資料に変更

- P.21 意思決定支援に関わるガイドラインの Q は削除

- ACP 作業部会名簿の記載順

会長、副会長、グループリーダー、グループメンバー、交代者の順に記載

3. 意思実現支援の構成変更(森担当)

- P.10 の下にポイントを追加し、現実には難しい。生活する場所の機能や役割が異なるのでその時の状況に関わるスタッフで判断し、本人の意思を出来るだけ反映できるものとなるよう柔軟性を持った対応をするなどの文章を付け加える。P.11 に P.13 を移動する。（文章の構成を変える）

- P.12 を別の単元とする（多職種連携について）

その次に P.11 を移動し、支援者の役割の文章を実際の場面を想定しながら各職種がどんな場面で思いを聞くかなどのイメージで文章を修正する

4. わたしノートの修正

ACP 作業部会で出た追加意見を盛り込む

事務局の修正部分は10月29日までに外山氏にメール送信する。

5. 今後の周知方法について

11月に全員に杉浦先生よりマニュアル・ノートで説明して貰いたいことを伝えて貰えないか？(事務局)

いつも伝えている事なので、皆さんでマニュアルを読み込んでもらい、グループが担当していた領域を代表が説明するという方法はどうか？皆さんにも勉強して周知して頂かないと広がっていかないと思う(杉浦)

11月のACP作業部会でグループ分けをして、担当の部分をPowerPointにまとめてもらうのはどうか？元々今まで作成してきたのもPowerPointだし、それを使って自分たちもカスタマイズすることもできる。(外山)

わたしノートの説明の仕方も含めて検討する必要がある。いつどこでどんな風に渡すと良いよと言った具体的方法まで降ろさないと現場で使ってもらえない(森)

6. 地域ケア推進会議で暫定版の報告

岡田副会長に説明して頂きたいのでよろしくお願いします。

→了解した。(岡田)

7. 事務局案の確認について

11月の作業部会前に杉浦先生に事務局修正版を見て頂き、確認したい。11月5日

10:00 安城更生病院地域連携室に集合とする

次回開催日：令和3年11月11日(木)ACP作業部会終了後